

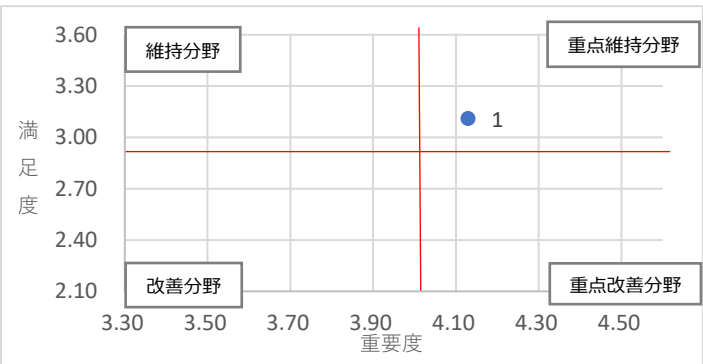
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	民生委員児童委員経費				所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●			●	●	●	
事業対象	町民		目的	地域福祉の向上と福祉行政の円滑化を図る。			
事業概要	住民と行政のパイプ役である民生委員児童委員の活動に関する経費						

事業予算								
会計	01	款項目	03	01	01	大事業	民生委員児童委員経費	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	4,430	4,468		4,327			
	概算人件費	3,039	3,075		4,006			
トータルコスト		7,469	7,543		8,333		0	0
国庫/県支出金		3,021	2,951		2,990		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.98 人			3,722 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	0.1 人			284 千円		
		その他	人			千円		
		合計			4,006 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	役員会の実施回数（回）	計画値	12	12	12	12	12	12
		実績値		12	12	12		
②	定例会の実施回数（回）	計画値	12	12	12	12	12	12
		実績値		12	12	12		

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域福祉の充実	4.13	3.11
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・民生委員児童委員の活動により、見守り等の支援が必要な住民への援護ができています。
	課題	・令和7年4月時点で、定員47名中、3名（地区）の委員が欠員がとなっている。 ・社会情勢や民生委員・児童委員をとりまく環境の変化により、委員の負担増加、担い手不足が課題となっている。
今年度	成果（実績）	・民生委員児童委員の活動により、見守り等の支援が必要な住民への援護ができています。
	課題	・令和7年12月に一斉改選があり、定員47名中、3名（地区）の委員が欠員がとなっている。 ・社会情勢や民生委員・児童委員をとりまく環境の変化により、委員の負担増加、担い手不足が課題となっている。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

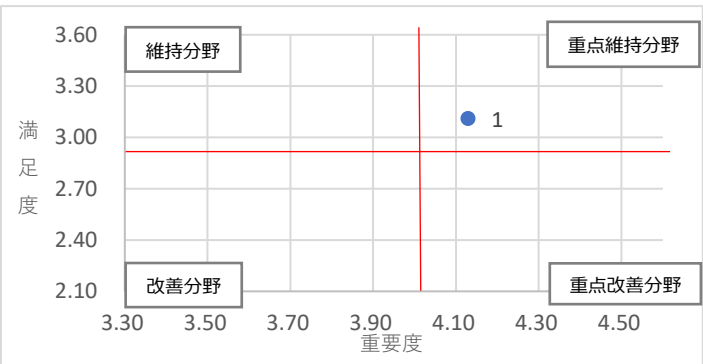
基礎評価シート（令和 7 年度 実績）

予算等事業名	団体育成事業				所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●			●		●	
事業対象	町民・団体		目的	団体等への助成により、社会福祉の向上を図る。			
事業概要	各種団体の事業運営に対して助成を図る。						

事業予算								
会計	01	款項目	03	01	01	大事業	団体育成事業	
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額		R 7 決算額		R 8 決算見込	R 9 事業費
	直接事業費	454	606		506			
	概算人件費	3,146	3,494		2,483			
トータルコスト		3,600	4,100		2,989		0	0
国庫/県支出金		0	0		0		0	0
その他		0	0		0		0	0
R 7 概算人件費		正規職員	0.53 人			2,483 千円		
		再任用職員	人			千円		
		会計年度任用職員	人			千円		
		その他	人			千円		
		合計			2,483 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	補助件数（件）	計画値	5	5	5	5	5	5
		実績値		5	5	5		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和 3 年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域福祉の充実	4.13	3.11
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・団体育成の助成により、社会福祉の向上につながった。
	課題	・各団体の担い手（後継者）の減少。
今年度	成果（実績）	・団体育成の助成により、研修や啓発事業が行われ、社会福祉の向上につながった。
	課題	・各団体の世代交代による、担い手（後継者）の減少。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

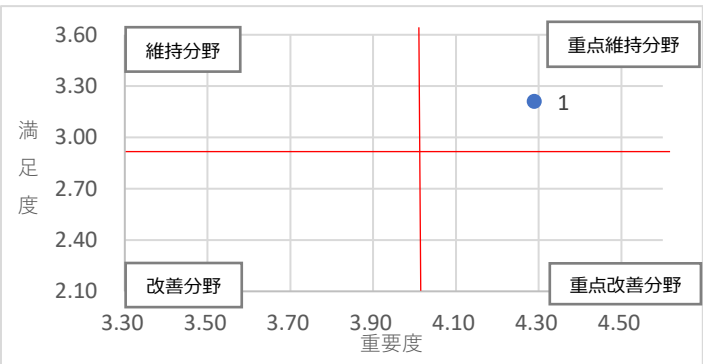
基礎評価シート（令和 7 年度 実績）

予算等事業名	障がい者緊急時対応経費				所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●			●		●	
事業対象	町民	目的	特に身寄りのない知的障がい者等、判断能力が十分でない方を法律的に支援する成年後見人を町長申し立てで申請する費用。				
事業概要	申立てに係る各種手続き、及び後見人等選任後の報酬について負担する。 その他、緊急対応に要する費用。						

事業予算							
会計	01	款項目	03	01	03	大事業	障がい者緊急時対応経費
		R 5 決算額（千円）		R 6 決算額		R 7 決算額	R 8 決算見込
							R 9 事業費
	直接事業費	167		0		46	
	概算人件費	261		0		174	
	トータルコスト	428		0		220	0
	国庫/県支出金	105		0		28	0
	その他	0		0		0	0
	R 7 概算人件費	正規職員	0.03 人		174 千円		
		再任用職員	人		千円		
		会計年度任用職員	人		千円		
		その他	人		千円		
		合計			174 千円		

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	対象者数（人）	計画値	1	1	1	1	1	1
		実績値		1	0	2		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和 3 年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	障害者福祉サービスの充実	4.29	3.21
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・令和 6 年度は実績なし。今後も成年後見の必要性に応じ申立て支援を行っていく。
	課題	・後見候補者の選任に関する体制について。
今年度	成果（実績）	・申し立て支援 1 件、後見人活動費 1 件の実績あり。
	課題	・後見候補者の選任について、部内にて候補者調整会議を実施。専門的意見を求める場合は、外部機関との連携が必要になるため申し立てまでに時間を有する場合がある。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和 7 年度 実績）

予算等事業名	社会福祉関係事業				所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●	●			●		
事業対象	町社協・団体・町民	目的	町の福祉施策を進める上で重要となる社会福祉協議会との協力・連携を深めることで、福祉サービスの充実を図り、役割分担のもと事業の実施や助成を行う。				
事業概要	・町社協との定例会実施・町社協補助金 ・民間シェルター等一時保護施設への入所を支援する。						

事業予算							
会計	01	款項目	03	01	01	大事業	社会福祉関係事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	14,234	14,138	15,090			
	概算人件費	1,420	1,361	607			
	トータルコスト	15,654	15,499	15,697	0	0	
	国庫/県支出金	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.1 人		607 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			607 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	町社協への補助金の交付（円）	計画値	13,052,377	13,010,728	13,010,728	13,010,728	13,010,728	13,010,728
		実績値		13,010,728	12,962,434	13,969,010		
②	一時避難所協定数	計画値	2	2	2	2	2	2
		実績値		2	2	2		

町民満足度調査結果（令和 3 年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域福祉の充実	4.13	3.11
2			
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・社会福祉協議会との協力・連携により支援が必要な人への福祉サービスの充実を図ることができた。また、困難な問題を抱える女性のための相談窓口の開設準備を行い、令和 7 年度 4 月の開設につなげた。
	課題	・職員の相談技術の向上、及び県専門機関との連携。
今年度	成果（実績）	・社会福祉協議会との協力・連携により支援が必要な人への福祉サービスの充実を図ることができた。また、困難な問題を抱える女性のための相談窓口を福祉保険課窓口において令和 7 年度 4 月から開設した。
	課題	・女性のための相談窓口について職員の技術向上、及び県専門機関との連携。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

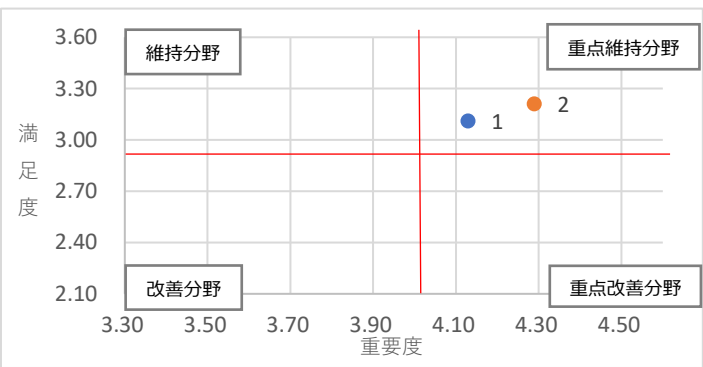
基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	在宅障がい者援護事業				所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●	●	●	●	
事業対象	町民・団体	目的	在宅の身体・知的・精神障害者に各種の補助事業を展開することにより、自立更正の一助に努め、併せて障害者とその家族の経済的軽減を図る。				
事業概要	在宅で生活を送る障がい者に対する各種福祉制度の利用助成や、障がい者を支える団体等の育成及び障がい者の支援を行うことで、福祉の増進を図る。						

事業予算							
会計	01	款項目	03	01	03	大事業	在宅障がい者支援事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	15,451	15,777	14,828			
	概算人件費	2,958	3,118	2,359			
	トータルコスト	18,409	18,895	17,187	0	0	
	国庫/県支出金	1,826	1,445	1,735	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.39 人		1,791 千円			
	再任用職員	人		千円			
	会計年度任用職員	0.2 人		568 千円			
	その他	人		千円			
	合計			2,359 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	視覚や聴覚障害、難聴者へのガイドヘルパーや手話通訳者等の派遣回数。（手話派遣・設置・要約筆記・ガイドヘル）（回）	計画値	282	282	285	288	291	294
		実績値		270	295	299		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域福祉の充実	4.13	3.11
2	障害者福祉サービスの充実	4.29	3.21
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・在宅障害者への各種支援により、福祉の増進が図られた。
	課題	・在宅障害児者福祉手当について、一律給付型の制度から、必要な方に必要となる支援を実施する制度へ見直しを進める。
今年度	成果（実績）	・在宅障害者への各種支援により、福祉の増進が図られた。 ・一律給付型制度であった在宅障害者福祉手当を廃止した。
	課題	・障害当事者及び当事者団体とのコミュニケーションを通じて、住み慣れた地域で生活するため、支援制度の維持や支援サービス向上に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	障がい者医療費給付補助事業				所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●		●		●	●	
事業対象	町民	目的	障がい者に対して医療費の一部を助成し、保健の向上に寄与するとともに更正を助長し、福祉の増進を図る。				
事業概要	重度障害者を含む一定以上の障害者手帳取得者に対し、福祉医療証を発行し、医療費の一部を助成する。						

事業予算							
会計	01	款項目	03	01	03	大事業	障がい者医療費給付補助事業
		R 5 決算額（千円）	R 6 決算額	R 7 決算額	R 8 決算見込	R 9 事業費	
	直接事業費	95,915	96,774	94,795			
	概算人件費	3,697	3,219	4,020			
	トータルコスト	99,612	99,993	98,815	0	0	
	国庫/県支出金	20,432	20,801	20,952	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
R 7 概算人件費	正規職員	0.55 人		2,600 千円			
	再任用職員	0.5 人		1,420 千円			
	会計年度任用職員	人		千円			
	その他	人		千円			
	合計			4,020 千円			

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	医療費助成対象者数（人）	計画値	375	375	375	375	375	375
		実績値		349	300	296		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域福祉の充実	4.13	3.11
2	障害者福祉サービスの充実	4.29	3.21
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・障害者の医療費助成により、福祉の増進が図られた。
	課題	・現時点で大きな課題はないので、継続して事業の執行に努める。
今年度	成果（実績）	・障害者の医療費助成により、福祉の増進が図られた。
	課題	・精神障害者保健福祉手帳取得者の増加に伴い、精神障害者の医療費助成対象者も増加傾向にある。生活支援事業所と連携し適正な支援サービスの提供に努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

基礎評価シート（令和7年度 実績）

予算等事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業				所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●	●					
事業対象	町民	目的	高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施することにより、後期高齢者の健康維持・フレイル予防につなげる。				
事業概要	健診や医療、介護に関するデータ等を分析し、高齢者に対する通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）と個別的支援（ハイリスクアプローチ）を行う。						

事業予算							
会計	01	款項目	04	01	03	大事業	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業
		R 5 決算額（千円）		R 6 決算額		R 7 決算額	R 8 決算見込
							R 9 事業費
	直接事業費	－		1,839		1,837	
	概算人件費	－		172		2,249	
	トータルコスト	－		2,011		4,086	0
	国庫/県支出金	－		0		0	0
	その他	－		0		0	0
R 7 概算人件費	正規職員			0.04 人		218 千円	
	再任用職員			0 人		0 千円	
	会計年度任用職員			1 人		2,031 千円	
	その他			0 人		0 千円	
	合計					2,249 千円	

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	個別面談後、体重が維持・改善した方の割合(%)	計画値	80	-	80	80	80	80
		実績値		-	82	100		
②	地域の通いの場への参加人数(累計)(人)	計画値	500	-	500	500	500	500
		実績値		-	538	541		

町民満足度調査結果（令和3年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	地域福祉の充実	4.13	3.11
2	介護予防・社会参加の促進	4.13	3.02
3			
全体平均		4.09	2.93

重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく

重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い

維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく

改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要

分析		
前年度	成果（実績）	・保健事業・介護予防事業を実施し、高齢者の低栄養防止及びフレイル予防が図られた。
	課題	・現時点で大きな課題はないので、継続して事業の執行に努める。
今年度	成果（実績）	・保健事業・介護予防事業を実施し、高齢者の低栄養防止及びフレイル予防が図られた。 ・個別面談後の対象者9名中9名が体重の維持・改善することができた。
	課題	・現時点で大きな課題はないので、継続して事業の執行に努める。 ・地域の通いの場への参加する動機付となるよう努める。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持

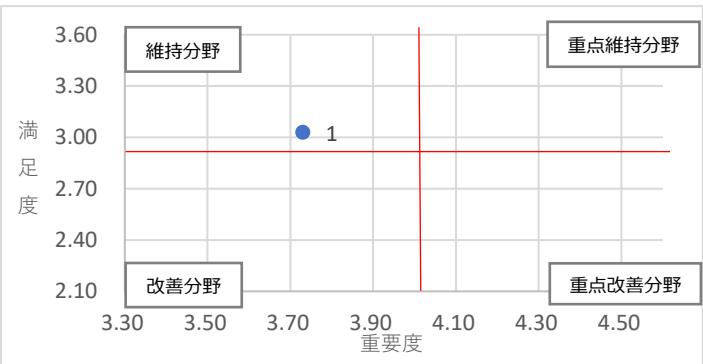
基礎評価シート（令和 7 年度 実績）

予算等事業名	戦没者追悼事業				所管課	福祉保険課	
事業の根拠	法令等（義務）	法令等（任意）	町例規	町要綱	総合計画（重点）	総合戦略	
	●						
事業対象	町民	目的	先の大戦などで亡くなった戦没者遺族の参列とともに町民の参列も募り、川勾神社慰霊塔前において、戦争犠牲者に対して追悼の誠を捧げる。				
事業概要	追悼行事の開催						

事業予算							
会計	01	款項目	03	01	01	大事業	戦没者追悼事業
		R 5 決算額（千円）		R 6 決算額		R 7 決算額	R 8 決算見込
							R 9 事業費
	直接事業費	405		1,325		540	
	概算人件費	375		429		232	
	トータルコスト	780		1,754		772	0
	国庫/県支出金	0		0		0	0
	その他	0		0		0	0
R 7 概算人件費	正規職員			0.04 人		232 千円	
	再任用職員			人		千円	
	会計年度任用職員			人		千円	
	その他			人		千円	
	合計					232 千円	

成果指標			基準値	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
①	追悼事業の開催（回/年）	計画値	1	1	1	1	1	1
		実績値		1	1	荒天のため中止		
②		計画値						
		実績値						

町民満足度調査結果（令和 3 年度）			
	該当施策	重要度	満足度
1	人権・平和の推進	3.73	3.03
2			
3			
全体平均		4.09	2.93
重点維持分野：重要度・満足度ともに高く、強みとして強化していく 重点改善分野：重要度は高いが満足度は低く、改善する優先度が最も高い 維持分野：重要度は低いが満足度が高く、維持していく 改善分野：重要度・満足度ともに低く、方向性などについて改善が必要			



分析		
前年度	成果（実績）	・式典の実施により、戦没者の追悼及び平和を祈念することができた。 ・安全対策のための慰霊碑階段手摺設置工事、台風被害による慰霊碑外柵緊急補修工事を実施。
	課題	・二宮町遺族会の高齢化及び会員数の減少。
今年度	成果（実績）	・荒天のため式典前日に中止の判断となった。 ・前日に判断せざるを得ないため、一部支払いが発生。
	課題	・二宮町遺族会の高齢化に伴う世代交代、及び会員数の減少。

※ 総合評価：「良好」「適当」「不良」 ※ 方向性「拡大・拡充」「現状維持」「要改善」「統廃合」「休・廃止」

1次評価(所管課)	総合評価	良好	方向性	現状維持
2次評価（庁内）	意見			
	総合評価	良好	方向性	現状維持